



平成 25(2013)年 12 月 25 日発行

# 学校通信 くすのき

## ～さあ冬休み～ (ˆoˆ) 一年を振り返り、新しく迎える年の目標を立てましょう！

今年も残り 1 週間あまりとなりました。今年の流行語大賞の一つに「今でしょ！」が選ばれましたが、皆さんは今年、「今でしょ！」という瞬間に物事を実行できたでしょうか。「今」やるべきことを後回しにすることは望ましいことではないですから、流行語ではなくてもこの言葉はとても大切な言葉ですね。人の一生からみると 3 年間の中学生時代は瞬(またた)く間に過ぎ去ってしまうものです。しかし、「今」はとても貴重な 3 年間なのです。「今」すべきことは何なのかをしっかりと自分に問いかけながら、この冬休みを有意義に過ごしてください。

### 大熱戦！2年生スポーツ大会

12 月 2 日（月）2 年生のスポーツ大会が行われました。種目は、アルティメット。フライングディスクを敵陣まで落とさずにパスをつなぐと得点が入るスポーツです。部活動経験者が有利になる競技と違い、全員が同じスタートラインから始められ、誰にでも活躍できるチャンスがあるのがこの競技のいいところのひとつです。

試合では、攻撃と守備のそれぞれで好プレーが続き、とても白熱した試合となりました。男子優勝は 3 組、女子優勝は 1 組、総合優勝は 1 組という結果になりました。



### 元気はつらつ！1年生スポーツ大会

12 月 6 日（金）、1 年生がスポーツ大会を行いました。種目は、アルティメットです。

アルティメットは、「スピリット・オブ・ザ・ゲーム」の精神を採用し、審判を置かずに各選手の責任感あるフェアプレイのもとに試合を進める競技です。そのため、互いを尊重する精神が最も素晴らしいこととされ、アルティメット協会の大会では、必ずスピリット・オブ・ザ・ゲーム賞が与えられ、この賞は優勝と同等の価値があるとされています。その精神を 1 年生の生徒たちは見事に発揮し、気持ちよく試合を進めていました。総合優勝は 3 組になりました。



### 薬物乱用防止教育「12 月 5 日(木)」

覚せい剤や、脱法ドラッグ等の違法薬物。絶対に使ってはいけないものと知っていながら、なぜ使用する人があとを絶たないのでしょいか？

本校では違法薬物の恐ろしさを知ってもらうため、学校薬剤師の先生を講師としてお招きし、全校生徒に薬物乱用防止教育を行いました。DVD を使って薬物の怖さを学ぶとともに、薬物をはじめ危険なことに近づかないためにはどうすればよいかを 3 年生の保健委員がとても分かりやすくロールプレイをしてくれました。



学校薬剤師さんのお話



保健委員によるロールプレイ

### 1 年生歯と口の健康教室「12 月 12 日(木)」

1 年生を対象に学校歯科医の先生を講師としてお招きして、歯と口の健康教室を開きました。

「8020 財団」(80 歳で 20 本の歯を残す)からご提供いただいた「噛むカムチェックガム」を使って噛む力を調べたり、生徒の質問に答える形で歯科医の先生と生徒がトーク形式で話を進めたりと、楽しく学ぶことができました。

最後に、養護教諭の宮本先生から「ひみこの歯がいーぜ」と誰もが知っている「卑弥呼」にかけて、日々の食生活のことや、しっかり噛むことの効用などについてお話していただきました。



### 太鼓の響きに人権の想いをのせて ～東淀川ドコドコドンVI～

今年のドコドコドンは、会場を西淡路小学校に移して 11 月 30 日(土)に開催されました。地域の保育所から小中学生、高校生、大学生、社会人までが太鼓でつながるこの催しも今年で 6 回となり、本校の部落研も第 1 回から参加してきました。

今年の部落研は、活動に参加して間もない 1 年生もいましたが、全員の心が一つとなった素晴らしい演奏を披露してくれました。



### 国文研主催「クリスマス交流会」

12 月 11 日（水）放課後、国際文化研究会が毎年恒例のクリスマス交流会を開きました。障問研のハンドベルによるジングルベルの演奏や、一生懸命下調べをして考えてくれたクイズ、世界各国の国旗をふんだんに使った国文研の手作りビンゴゲームなどで、楽しく過ごしました。

最後にサンタクロースが登場し、参加者全員にプレゼントを配ってくれました。



### 土曜授業（学校公開）が行われました。

12 月 7 日(土)、今年度 2 回目の学校公開が行われ 60 名を超える保護者の方にご来校いただきました。2 時間目までの授業参観のあと、落語家になる前は獣医をしておられたというキャリアを持つ、林家卯三郎師匠に「饅頭(まんじゅう)こわい」という上方落語を演じていただきました。

本格的な落語を目の前で見るのは初めてという生徒が多く、身振り手振りに加え、声色(こわいろ)を人物によって使い分ける落語の醍醐味(だいごみ)を存分に味わうことができました。また、師匠の巧みな話術とネタの持つ面白さに、生徒の笑い声の絶えない 1 時間となりました。

午後からは、淡路ファイティングサタデー。3 年生引退後の初めてのファイティングサタデーでしたが、どの部活動でも小学生を優しくていねいに指導していました。多くの小学生の感想には「先輩が優しくて楽しかった」と書かれていました。また、「中学校で入部したい部活動」を書く欄には、ほとんどの参加者がこの日体験した部活動名が書かれており、中学生の頑張りの成果が表れていました。



授業の様子



林家卯三郎師匠の落語



陸上部



家庭科部



吹奏楽部

### ～生きてくれてて、ありがとう～北村年子さんの講演「12 月 13 日(金)」

この日は、講師として東京から北村年子さんをお招きし、PTA 3 校合同人権講演会を兼ねて「居所のあるホーム(ルーム)」と題してお話していただきました。初めに、ホームレスの人たちに毛布やおにぎりなどを届ける活動を行っている子どもたちの姿を記録した DVD を鑑賞後、ホームレス問題についてお話を伺いました。DVD の映像やお話から、生徒たちは彼らへの偏見に気づき、そして、彼らを見下し排除する考えは、見て見ぬふりをする「いじめ」の構図と同じで、「無関心」であってはならないということ学びました。

また、「いじめ」加害者は自尊感情が乏しい人が多く、「いじめ」問題の解決には自尊感情を大切に育(はぐく)む教育が重要だと訴えられました。これは、本校の「ピア・サポート」活動と通じるものがあり、「自分を大切に 人を大切に 命・平和を大切に」という本校の「めざす子ども像」と重なります。

最後に、「ホームレス」や「いじめ」問題に向き合うきっかけとなったご自身の体験を話されている時、思わず涙をこぼされました。「中学校の講演で泣いたのはこれが初めてです。みんなが最後まで私の話を受け入れてくれたからです。最後まで聞いてくれてありがとう。」とおっしゃいました。北村さんの「自分を大切にするんだよ」というメッセージが、生徒の心に沁(し)み込んでいくのを感じた講演でした。

